



令和7年6月3日
交通政策部

「交通空白」解消パイロット・プロジェクト第3弾を発表！

～北陸信越運輸局管内では2つの実証事業を含む～

国土交通省では、全国で抱える「交通空白」に係る共通のお困りごとについて、全国一斉での解決を目指し、論点整理やノウハウ展開を図るため、「『交通空白』解消パイロット・プロジェクト」として、先導的な実証事業について支援することとしています。

この度、第3弾プロジェクト（1件）が公表され、北陸信越運輸局管内からは2つの実証事業を含む形となりましたのでお知らせします。

北陸信越運輸局としては、「交通空白」解消に向けて、特に先進的・意欲的に取り組むこととなるこれらのプロジェクトについて、より重点的な伴走支援に取り組んでまいります。

- 国土交通省では、5／23に「パイロット・プロジェクト」第3弾として1件のプロジェクト（実証事業3つを含む）を発表しました。

（参考）国土交通省報道発表 <https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001890389.pdf>

- このうち、北陸信越運輸局管内の実証事業としては次の案件が採択されています。

- ・石川県能登地域公共交通協議会

- 「複数自治体連携による持続可能な地域交通の実現」

- ・・・北陸信越運輸局「能登復興のための主要施策2025」の一環としてこれまでも伴走支援を実施

- ・南信州地域交通問題協議会

- 「南信州圏域における交通エリアマネジメント先行実証事業（仮）」

- これらの事業では、資金面・人材面で課題を抱える小規模な自治体・事業者において、

- ・既存の交通モードの共同運営化（予約配車の共同化等）や広域化（自治体またぎの運行）による「交通空白」解消のための金銭的・人的・物的資源の効率的活用

- ・これらを地域一体で担うための広域運営体制の構築

以上について検討を行い、共同化・協業化による持続可能な地域交通の実現を目指します。

- 5／30には、国土交通省「交通空白」解消本部において、「『交通空白』解消に向けた取組方針2025」が策定されたところであり、国として、交通空白解消に向けて、輸送サービスの共同化・協業化などについて促進することとされたところです。

- 北陸信越運輸局としては、今回採択された実証事業について、検討段階から積極的に協議に参画するなど、より重点的な伴走支援に取り組んでまいります。

<問い合わせ先>

国土交通省 北陸信越運輸局 交通政策部 交通企画課 新倉、柏
TEL：025-285-9151

Title

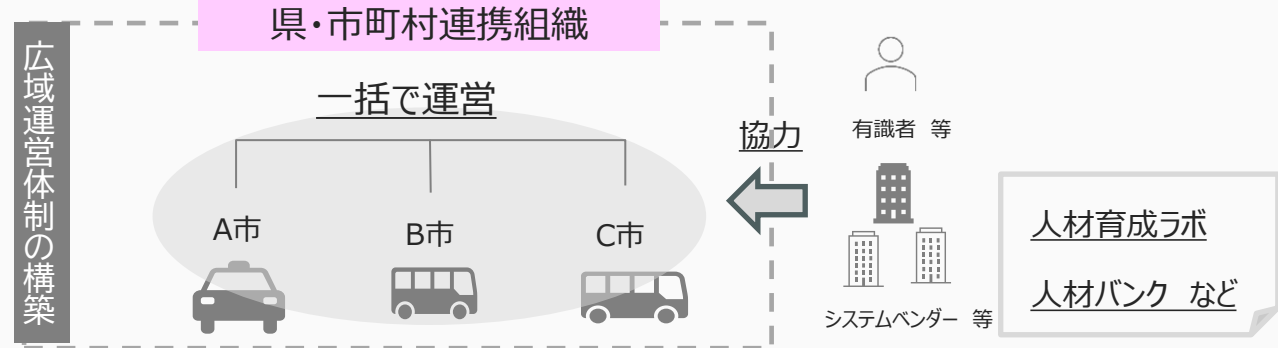
共同化・協業化による持続可能な地域交通の実現

Area R7年度 実証地域

- 石川県能登地域
- 長野県南信州圏域内
- 静岡県賀茂南西エリア
- 茨城県つくば市・土浦市・下妻市・牛久市

Project Members 事業主体、パートナー企業・団体、関係省庁など

市町村間広域調整、広域事業推進、広域交通計画策定



Background プロジェクト実施の背景

- 資金面・人材面で課題を抱える小規模な自治体、事業者が集まっており、単独での運行継続が難しく、減便・廃止の危機に瀕している
- 一方で、各自治体ごとに運行費補助や公共ライドシェア等の運行を行っており、エリア内で限られた金銭的・人的・物的リソースを効率的に活用できていない

Outline プロジェクト概要

※将来的な構想（案）を含む

スケールメリットを生かした運営効率化

既存の交通モードの共同運営化（予約配車の共同化等）や広域化（自治体またぎの運行）により「交通空白」解消のための金銭的・人的・物的資源の効率的活用

一括した人材育成

システムベンダー等が協力して、人材育成やドライバー募集等を一括で実施することで、自治体×企業・団体等の連携によるリソース効率化と需要の創出

Effect 想定される効果

地域全体でのリソース共有による効率性向上
 地域全体を俯瞰したネットワーク再構築による利便性向上
 →特に過疎地での「地域の足」を効率的・安定的に確保

Plan 今後の展開（他地域への事業展開構想・見通し）

同様の課題を抱える地域においても、共同化・協業化によるリソースの共有等を実現